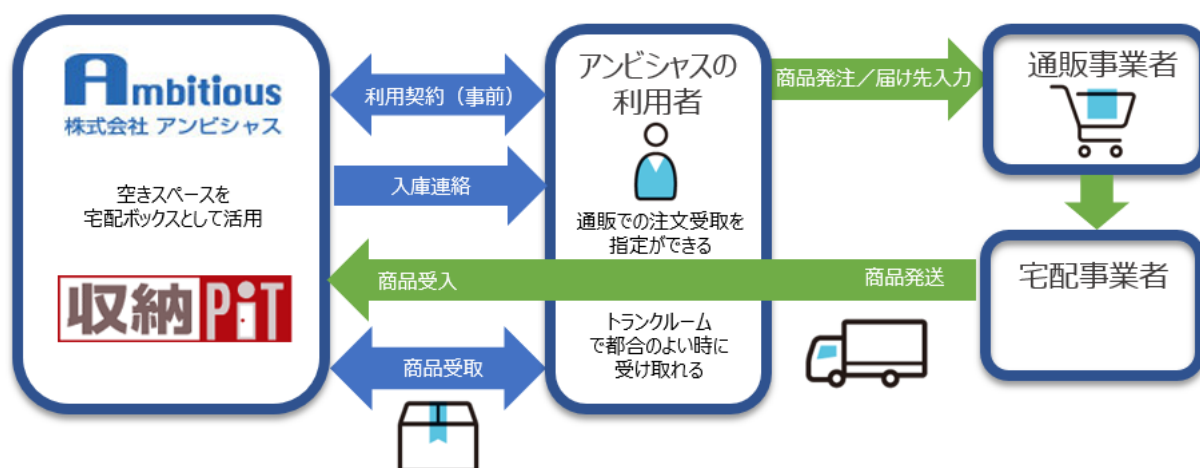


日本ユニシス トランクルームを宅配ボックスにすることで、宅配クライシスを解決！ ～「トランクルームを宅配ボックス化する」コンセプトを立案し、 関西地区大手のトランクルームを運営するアンビシャスが実証事業を実施～

日本ユニシスは、「トランクルームを宅配ボックス化する」コンセプトを立案し、関西地区大手トランクルームを運営する株式会社アンビシャス（以下：アンビシャス）の実証事業に企画協力します。この実証事業で得られた利用者動向などのデータを分析し、アンビシャスの本格事業体制の構築に向けた支援を行います。

日本ユニシスは、生活者・トランクルーム事業者・通販事業者・宅配事業者をつなぐビジネスエコシステムの創出により、宅配クライシスという社会課題解決を進めていきます。



【背景】

日本国内の宅配品は、ネット通販の急速な拡大により年間40億個を超え、そのうちの2割の8億個が受取人の不在による「再配達」となり、宅配業界の労働環境の悪化などの「宅配クライシス」が大きな社会課題となっています。

また、不要不急な「モノ」を預かるトランクルーム業界は、都市部を中心に急成長が見込まれており、身近に気軽に手軽に「モノ」を保管できるスペースが急速に増えています。

【実証事業の概要について】

アンビシャスの3店舗にて、同社のトランクルーム契約者を対象に、トランクルームの一部を「宅配品受取」専用とすることで、利用者の動向などを検証します。

実証開始：2018年10月2日から

1. 利用者が通販サイトでの注文時に同社のトランクルームの住所を通知（入力）。
通販事業者の委託をうけた宅配事業者が指定のトランクルームに商品を配送。
2. 宅配事業者が店舗内の「ロッカー」に商品を入庫後、利用者に通知し、利用者自らトランクルームに出向き、出庫。

【今後の取り組み】

日本ユニシスは、さまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムのカタリストとして、顧客・パートナー企業とともに社会課題の解決に取り組んでいます。本事業は、「宅配クライシス」という社会課題を、急成長を遂げている「トランクルーム事業者」とともに解決し、生活者の利便性を向上させるものです。

将来的には既に提供を開始している「シェアリングサービス」などのさまざまなプラットフォームとの連携や、トランクルームを活用した他サービスの創出も進め、社会課題を解決する企業として邁進していきます。

以 上

注：株式会社アンビシャス

京阪地区を中心にトランクルーム「収納ピット」を直営／フランチャイズで運営。
関西地区の大手トランクルーム事業者です。

■関連 URL

「株式会社アンビシャス」 <http://www.ambitious8.biz/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。